

# わんにゃん通信

## 「新しい飼い主」募集中!!



問 動物愛護センター ☎681-1210

人と動物が共に安心して暮らせるまちを実現するためには、動物の命を守るだけでなく、生涯にわたり適切に飼育される環境へとつなげていくことが重要です。

動物愛護センターでは、けがや病気などにより道路や公園で動けなくなった犬や猫を保護し、治療や健康管理を行い、新しい飼い主へつなぐ「譲渡事業」に取り組んでいます。

新しい飼い主になることを希望される方には、譲渡前講習会の受講をお願いしています。講習会では、飼い主としての義務や適正な飼い方について理解を深めることができます。

### 譲渡前講習会

**時** 毎月12日（わんにゃんの日）

**申** 事前に電話で動物愛護センターへ

講習会を受講された方は、センターで保護されている動物と直接触れ合うことができます。動物の性格や健康状態を、日々お世話をしている職員が丁寧に説明しますので、安心して検討していただけます。

現在譲渡対象となっている犬や猫を市ホームページで紹介しています。



# こども誰でも通園制度



問 保育育成課 ☎内線573

子どもはさまざまな人やもの、環境との初めての出会いを繰り返しながら育ちます。子どもが人生の最初の一步を健やかに踏み出せるよう、社会全体で支え、応援していくことが大切です。

子どもの誕生前から小学校1年生までの時期にあたる「はじめの100カ月」は、生涯にわたるウェルビーイングの基盤となる最も大切な時期といわれています。この時期に同じ年頃の子どもや家族以外の人と関わるなど、家庭とは異なる経験をすることで、人やものへの興味や関心が広がり、子どもの成長につながります。



こども誰でも通園制度は、保護者の就労要件を問わず、1人につき月10時間まで最低1時間から30分単位で保育所などを利用できる制度で、市内の17の施設で利用可能です。

育児の負担を軽減し、保護者の心身のリフレッシュにもつながります。ぜひお気軽にご利用ください。

**対** 保育所などに通っていない0歳6カ月から満3歳未満のお子さん

**費** 1人1時間当たり300円（減免制度あり）

※給食などの提供がある場合、利用料の他に実費負担あり

利用には事前申請が必要です。詳しくはこちら



# 一口健康メモ

血液検査で「赤血球が多い」と言われたら

山形市立病院済生館 血液内科 木村淳

健診や診察で「赤血球が多い」と言われ、心配になる方もいるかもしれません。赤血球が増えすぎた状態を「多血症」といい、その一つに「真性多血症」という病気があります。これは、血液をつくる遺伝子の働きに異常が起こり、赤血球が必要以上に増えてしまう病気で、主に高齢の方にみられます。赤血球が増えると血液が濃くなり、流れが悪くなります。そのため、頭痛や目まい、体のかゆみ、顔や手足が赤くなる、耳鳴りといった症状が出る場合があります。また、血管が詰まりやすくなり、脳梗塞や心筋梗塞などを引き起こす危険も高まります。特に、たばこは血管の病気を引き起こしやすくなるため、禁煙がとて大切ですよ。

治療では、血液を少し抜いて濃さを下げたり、血液を固まりにくくする薬を使ったりします。状態によっては、血液が増えすぎないようにする薬や新しい注射薬を使うこともあります。早期に発見し、治療を行うことで合併症を防ぎ、病気をコントロールすることが可能です。気になるときは、血液内科医に相談しましょう。

